

事業名

拠点ターミナル駅帰宅困難者問題連携対応プロジェクト

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200 字以上～300 字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	<p>NTT電話に頼ることなく拠点間の通信を実現する努力を行う。目指すべきポイントは二つあり、一つは、対話するに足る人間関係を拠点間で作ることと、もう一つは、通話するためのツールとして、機能的、費用的に相応しい技術が何であるかを見極めること、である。</p> <p>平成 24 年現在、新宿と東京をプライベート通信網で結ぼうとした場合、工学院大学屋上にあるFWA通信施設を活用することがベストチョイスと考え、結論に至っている。</p>	5
2	市民性	<p>FWA通信は使いこなすために多少、理科系的な知識が必要であり、行きずりの高齢者などが使うに無理がある。ユーザーフレンドリーを実現するためには、オペレーターが設置するFWA基地にIP公衆電話を標準設置してやる必要があるであろう。</p>	4
3	波及効果	<p>新宿と東京の接続を恒常的に実現した場合、その接続の輪に入ってみようとする他の拠点駅は必ず登場してくると思われる。具体的には、品川、汐留、飯田橋、など高層ビルが拠点管理に関与している場合にはすべて検討の可能性が出てくる。</p>	5
4	継続性	<p>25 年度に設備を恒常化させる予算を申請中である。設備の恒常化のためには平常時の活用方法を考案する必要があり、工学院大学の遠隔授業などがその候補となるといえる。</p>	5
5	マルチステークホルダー・プロセス	<p>新宿駅周辺防災対策協議会、と東京駅周辺防災隣組以外にも、FWA通信を行う拠点の管理者が検討会のメンバーの中にある。具体的には今回の通信訓練に参加した飯田橋、四谷、秋葉原、神田、渋谷の各ステークホルダはその可能性が高い。</p>	5

合計点

24

ランク

S